



○1級審判員の自覚

札幌地区 荒上 修人

これまで多くの方々に支えられ、サッカー1級審判員に合格することができました。北海道サッカー協会関係者をはじめ、各地区のサッカー協会関係者の皆様方に感謝申し上げます。

4級審判員を取得してから11年間の審判活動を通じて、多くの経験と出会いがありました。時には厳しい言葉でご指導いただいたこともありましたが、それらの経験のおかげでここまで到達することができました。1級がゴールではなく、新しいスタート地点ですので今後さらなる自己研鑽に励み、より良い北海道のサッカー、日本のサッカーに一役買えればと思います。

私が2級審判員になったときは私が若手審判員と呼ばれていましたが、今ではさらに若い2級審判員も多く誕生しており、今後は良い見本となれるように努力して参りたいと思います。

2018シーズンはナショナルコンペティション(NC)担当審判員として活動を行っていきます。今までとは違う環境での活動が多くなりますが、「選手のために」という根本は揺らぐことなく黒子に努めていきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

○2018シーズンNC担当審判員研修会報告

札幌地区 荒上 修人

2018年2月10日(土)～2月12日(月)、新横浜にて開催されました2018シーズンナショナルコンペティション(NC)担当審判員研修会に参加して参りました。1級審判員としての初めての研修会であり、新1級審判員の仲間と共に非常に緊張した中での研修会となりました。研修会の冒頭で小川佳実審判委員長より直接1級のワッペンをいただき、いよいよ1級審判員としての活動が始まるという実感が沸いてきました。また、2018シーズンのテーマ「Realizing your potential」が発表され、サッカーに携わる者として感動と喜びの提供を目指しましょうとの激励がありました。

その後は各カテゴリーに分かれて研修が実施され、NC担当は2017シーズンの振り返りから始まりました。昨年のNC担当研修会では「自立と自律」というテーマを設けており、「論理的思考」を持って何事も実践していこうとの方針でした。

2日目は2018競技規則スタンダードの説明があり、ハンドリング・ホールディングの警告の基準等判定基準の意思統一を図りました。また栄養学についての講義では、日頃の食事、試合前の食事、試合後の食事と必要な栄養素、食事を取るタイミングについて学ぶことができ、早速実践をしていきたいと思っております。次にフィジカル理論についての講義を経て、フィジカルチェックとしてCODAとYo-Yoテストを実施しました。

最終日は「選択理論」を学んでいく中で「なぜ1級審判員になったのか」「サッカーとの出会い」「うまい審判員とは」といったグループディスカッションを行い、審判を行うこととなった原点と審判としての目標を確認しました。

最後にまとめとして、人それぞれ目標や考え方が違うので「自分の考えを持つ」ことが大切であるということを確認して、研修会が終了しました。

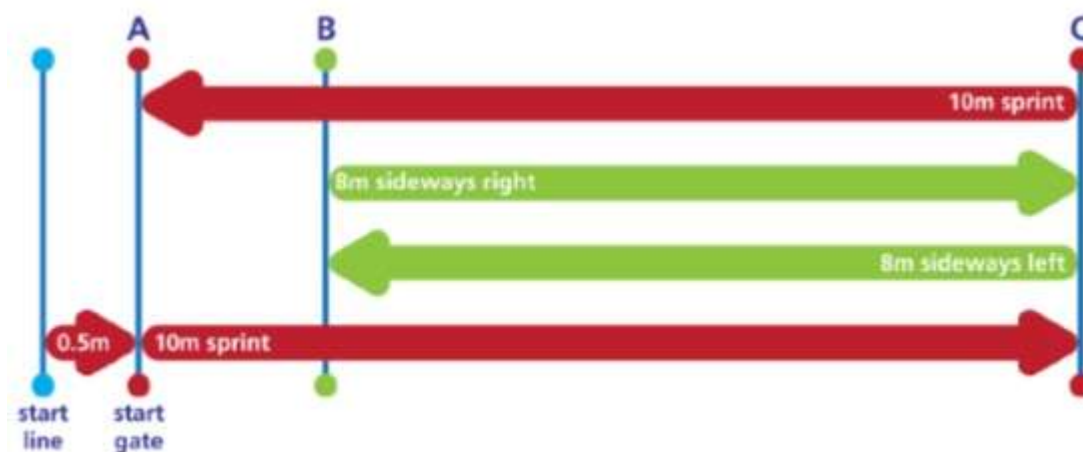
本研修会に参加し、改めて1級審判員としての責任を感じました。今後の活動を行っていく中でも、1級審判員としての自覚を持ち、いよいよ始まる2018シーズンに臨んで参りたいと思います。

※フィジカルチェック

CODA (Change Of Direction Ability)

10m スプリント→2m 右サイドステップ→2m 左サイドステップ→10m スプリント

10m スプリント→2m 左サイドステップ→2m 右サイドステップ→10m スプリント



Yo-Yo テスト

20m 往復→0.5m ウォーク（1本）→20m 往復→0.5m

